

東岡崎駅交通施設整備事業の工事（第１期分）に関する基本協定書の概要

- 1 工事施工者 名古屋鉄道（株）
- 2 工事期間 平成 22 年度から平成 24 年度までの 3 カ年
- 3 概算事業費 約 23 億 1 千 1 百万円
(うち市負担分は約 21 億 8 千 1 百万円。負担率約 94%)
- 4 工事概要
(昇降施設) エレベーター 1 基 (15 人)、エスカレーター 4 基、階段
(橋上駅舎) 橋上改札口、旅客用男女トイレ、コンコース、駅務機能など
(その他) 駅南口のパーキングと直結する連絡通路を整備
仮設改札口、仮設階段
- 5 その他
平成 21 年 12 月に着工した名鉄のバリアフリー化工事(事業費 約 6 億 6 千 1 百万円)により、橋上駅舎の一部(エレベーターホール、通路)、エレベーター 2 基(定員 11 人)、多機能トイレが整備される。これに対して、国・市、共に約 2 億 2 千万円を補助し、平成 22 年 12 月末までに暫定供用となる予定。
名鉄のバリアフリー化工事を含めた全体総事業費は約 29 億 7 千 2 百万円。



図：第１期工事竣工時点の東改札口のイメージパース